

輝く海

第60号 2020年2月28日

発行 兵庫県立明石北高等学校

第46回生学年団



(保護者の方にも読んでいただきましょう)

「これまでの出会いを宝に！ これからの出会いも大切に！」

学年主任 T. O

46回生の皆さん 卒業おめでとう！

私は皆が入学して以来着実に成長し、しっかりしてきた姿に驚いています。(態度がでかくなったという人もいますが)それも良き友や様々な先生方との「**出会い**」があり、友情や励まし、アドバイスのおかげだと思います。この出会いは偶然かもしれませんが、君たちの人生に影響を及ぼしたことは間違いありません。明石北高校での素晴らしい出会いは皆のかけがえのない財産になっています。そして卒業後の新しい世界でもこの宝を大切に、さらに大きく成長しててください。期待しています。

- 「あ」 笑顔で挨拶をする
- 「か」 いつも感謝の気持ちを忘れない
- 「し」 自主性、主体性をもって自ら行動する
- 「き」 規律を守る。命を守る
- 「た」 高い理想を持ち、覚悟を持ってやり遂げようと努力する。



この46回生のモットーを最後にもう一度記しておきます。今、君たちは高い理想を実現するために新たな第一歩を踏み出しました。これまでの「**出会い**」に感謝し、これからの新しい「**出会い**」も素晴らしい宝となるはずですからその出会いを大切に、目の前に続いている途(まっすぐではないかもしれませんが)を、しっかりルールを守りながらも自らの考えで主体的に歩んでください。意志を強く持ち続けて、決してあきらめることなく一歩一歩確実に！



「贈る言葉」

学年副主任 T. N

卒業おめでとう。あっという間の三年間だったような気がしています。この三年間、いろいろな経験をして人間として成長することができたでしょうか。

巣立ち行く君たちに、贈る言葉…。いろいろと思案しましたが、私の頭で考えることはどれも一般性に欠けたり、公にするのが憚られたりする変なものばかりなので、ノーベル文学賞作家バーナード・ショーの名言を贈ります。

▼「人生とは自分を見つけることではない。人生とは自分を創ることである。」まさにその通り。

▼「いつも自分をきれいに明るく磨いておくように。あなたは自分という窓を通して世界を見なければならないのだから。」

確かにそうなんだよな～。

最後にNの迷言、「人生無事に過ごすな。」



「自分のペース」

学年付 Y. M

卒業おめでとうございます。皆さんはどのような3年間だったでしょうか？自分のペースで過ごすことが出来たでしょうか？私自身はマラソンのペースメーカーの背中を必死で追いつながら走っていたような3年間でした。マラソンのペースメーカーって知っていますか？マラソンの「ペースを作るランナー」のことで、大会記録の目安のためにレースを先導し、選手の風よけになる役割を担っているランナーらしいです。国内では最近認められた存在でもあるようですが、このことを知ったとき、実際に走っている選手たちはペースメーカーに先導されても、自分のペースを乱すことなくうまく調整しているのだな、さすがプロ！と感嘆しました。

自分のペースを掴み、少々のことでは乱されない、淡々と走る、いつでもどこでも、どんな時でも大切なことですね。わかりきったことなのに、ついつい忘れてしまうことでしょうか？私はこの3年間を振り返って、改めて自分のペースを掴み直す必要があるなと感じました。これから新しい世界に飛び立っていく皆さんにも忘れずいつも心がけてほしいことです。なぜならマラソンのペースメーカーはレースを途中で降りることができるらしいですから、くれぐれも自分のペースを他者に乱されないように、お互いペース確認を怠らないようにしましょうね。

「ばいなら、らないば」

1組担任 S. M

卒業だね。最後に僕の大好きなヘミングウェイの言葉を贈ります。

“A man can be destroyed but not defeated.” (The Old Man and the Sea より)——深い。きっと、この先、もっと、もっと、もっと大変なことに遭遇すると思います、必ず。そんな時は、底抜けに明るく、底抜けに逞しく。そしてまた会おう、Hang in there!!!

「Life is full of exciting possibilities」

2組担任 T. K

再び春が巡り来て、卒業の時を迎えました。これからまた新しい場所で、新しい生活が始まりますね。今まで築いてきたものを大事にしながら、しかし、自分はこうだと決めつけず、いろいろなことに積極的にチャレンジして、新しい自分を見つけてください。人とのつながりについても同じことが言えます。人はひとりでは生きていけません。人のなかで生き、周囲の人との関わりを通じて成長します。自分とは全然違うタイプの人と話してみるのもいいのでは？

自分が心を開けば、世界は広がります。これから出会う人やものごとを大事にして、多くのものを吸収してください。ときには自分の弱さと向き合わなければならないこともありますが、それをきちんと受けとめることで強くなっていけると思います。今はまだ自分が何者になるか (or になれるか) わからず、手探りで進む不安があるかもしれませんが、自分しだいで、何者にもなれるのです。本物になるために、じっくりと力をつけてください。自分の成長を長い目で見ていきましょう！

みなさんの人生が豊かなものになることを祈っています。卒業おめでとう！



「前途を祝して」

3組担任 T. S

ご卒業おめでとうございます。3年間の学校生活は楽しいことばかりではなかったと思います。失敗したり、何かで心が折れそうになったこともあったでしょう。でもそれを乗り越えて卒業の日を迎えることになった皆さんは人として大きく成長し、多くのものを手に入れました。ともに笑い、ともに励まし、ともに支え合った仲間と過ごした日々を胸に、何事にも挑戦する姿勢、周囲の人への感謝の心を忘れず、これからの人生を力強く歩いて行ってください。これから歩いていく新しい世界は思った以上に広くて大きくて可能性に満ちています。これからは自分で何事も決断していくのです。どう選択するのも自由ですが、自分のしたことに対しては責任を持たなければなりません。自由と責任は常に表裏一体です。自分の意志で決定し、自分の行動に責任が持てる、そんな人になってください。皆さんの将来が希望と幸せに満ちたものになりますように。

「自分らしく」

4組担任 M. K

みなさんと出会ったのは3年前。あっという間の3年間でした。私事だけど、2回も入院し、みなさんには迷惑もかけました。いろいろ思うところがあったり、その中で人生観が変わったりもしたけれど、こうして元気になり過ごせているのは46回生の一人一人のおかげです。ありがとう。元気なつもりでいても何があるか分かりませんね。みなさんもくれぐれも健康には気を付けてください。健康診断は本当に大切です！

さて、いよいよ卒業です。最後の学年集会の時も言いましたが、みなさんならどんな道を選んでも、どこへ行っても、きっと幸せをつかめます。幸せの形は一つではなく、思い描いたとおりの夢をつかんだときはもちろん、そうでなかったとしても、みんなの人生は幸せに包まれていることでしょう。大切なのはいつも自分らしくいること。素直な気持ちで道を選ぶこと。自分の隣で笑う仲間たちと共に、あなたらしい人生を——。卒業おめでとう！

「光陰矢の如し」

5組担任 H. T

前回、卒業生を出して、はやいもので三年間があっという間に過ぎました。光陰矢の如しを実感しています。今年の卒業生は、特に、クラブでも個人的によく話もしたし、クラスでも1-1、2-6、3-5と仲良く文化祭等に取り組み独特な雰囲気味わいました。いい思い出をもらいました。今年はおみくじが久しぶりに大吉だったので、おおむね入試も順調だったと思います。高校は卒業してから値打ちがわかります。地域では大学よりも高校時代の話で盛り上がります。先輩方に出会ってもしかしたら同じ先生に教えてもらってたら、「ヒデリン」で言うだけで「We are friends」となりますよ。間違いない。

「時間の感覚を大切に」

6組担任 D. S

卒業おめでとう。今後の人生、様々な経験が必要なのは当然ですが、時間を大切に。正確には『無計画に人の時間を奪わない』。人間平等に、24時間が与えられています。そこから、最低限必要な時間（睡眠、食事など）を引くことにより、自分が使える時間が決まります。これは人によって様々です。そんな中で時間を作って、人は出会い、活動するのです。他人の時間を無計画に奪うのは、大きな問題です。もちろん、それでもミスはします。そんな時、あなた自身を助けてくれるのは、それまでに自分がどんな行動をしてきたかです。その点は時間をかけてしっかりと「信用」を手に入れてください。信用は簡単には作れません。ただし、簡単に壊れていきます。いろんな意味での「時間の掛け方」を考えてください。今後の将来が幸せになることを願っています。

「しあわせは いつも じぶんの ところが きめる」

7組担任 M. H

卒業おめでとうございます。「しあわせは いつも じぶんの ところが きめる」あいだみつをさんの言葉です。これを知ったのはもう20年前くらい。学校にくるのがしんどかった生徒が、卒業時に笑顔で教えてくれました。他人に振りまわされることなく、他人と比較するのではなく、自分を否定するのではなく、「私」が決める。もともと勝手ものの私にはこの言葉はスーッと胸に入ってきました。みんなも歌詞などで好きな言葉あるよね。大切にしてください。ささやかだけれど、大きな支えになります。では、いざさらば。お元気で！！



「とにかく全力で」

8組担任 Y. M

人は時に打算的な考えで行動します。きっと『こんなことやっても無駄』『できなかつたらどうしよう』『自分の力では無理…』という消極的な思いが優先しているのでしょうか。それまでの経験から導き出しているのだから仕方ありません。しかし今後の人生ではとにかく必死になってください。どんなことでもいいのです。学業・仕事・恋愛・遊びなど小さなことから大きなことまで何でもいいのです。必死に何かを頑張っている人というのは必ず周りから応援してもらえます。もしかしたら『今さら必死になっても恥ずかしいだけ…』と思っている人もいるかもしれませんが、必死になっている人を馬鹿にしている姿ほど虚しいものはありません。放っておきましょう。皆にはそんな虚しい側にはなってほしくはありません。さあどんな時も全力で！



『できるかできないかではない やるかやらないか』

46回生皆さんの未来に幸あれ。

「あきらめるな」

9組担任 M. F

卒業おめでとうございます。既に進路が決定している人は、希望あふれる新しい生活に向けて頑張ってください。まだ、進路が決まっていない人、「卒業」と言われても、あまり実感がわかないかもしれません。自分もそうでしたが、前期試験が終わり、まだ後期試験も残っていて、宙ぶらりんの状態で、先が全く見えない不安な気持ちでいる人も多いと思います。餞として、作者は知らないのですが、僕の好きな詩を送ります。

あきらめるな ときにはそんなこともあるように、物事がうまくいかないとき、足取り重く行く道が、どこまでもつづく上り坂に見えるとき、蓄えは乏しく、借金は多く微笑みたくても、つい、ため息が出る時、心配事が、ちよっぴり重くのしかかっているとき、必要なら休むがいい、だが、あきらめてはいけない。

人生は紆余曲折のある不思議なもの、誰もそれを知るときがある、そして、多くの失敗は、くるりと方向転換する、そのとき、もちこたえていたなら、勝利したかもしれない。歩みはのろく思えても、あきらめてはいけない もう一息で成功するかもしれないのだ。

成功は失敗の裏返し 疑念の暗雲にも銀色の輝きがほの見える。そして、どれだけ近づいているかは決して分からない。はるか遠くに思えても、すぐそこなのかもしれない。だから、打ちのめされても闘い抜け 最悪に見えるときこそあきらめてはいけない。



46回生卒業記念品